

■寒さに負けるな、サークル参加者！■

サークルは一回開会してしまつたらなかなか動けない。しかも場所によっては屋外より寒い。だからこそ、動きまわることを前提とした一般参加者とはまた違った準備と対策が必要になってくる。

今回はそんなサークル向けの防寒対策を紹介しよう。

1：まずは配置場所を確認！

会場内の温度差は場所によって非常に大きい。その中で最も寒いのは、各ホールの屋外開口部に面した場所だ。大きく開放されたシャッターから外からの風がモロに吹き込み、雨天以外では準備会でもそのシャッターを閉じることができないのだ。

概ね、開口部から1島、そして開口部に続く広い通路沿いも風が抜けていくので寒い。

例外なのが2日目の男性向け創作ジャンルだ。

会場と同時に館内の人口密度が跳ね上がることで、各開口部ほぼ全部に大手サークルの場外行列が作られることで外からの寒風が遮断されるため、それほど寒さは感じないか、むしろ暑いくらいかもしれない。

2：館内でも寒さは足元から

パイプ椅子に座っていると足腰から冷えが這い上がってくる。防寒の基本は屋内でも同じ、**冷気を遮断すること、的確に保温&加温すること。**

カイロ類を用意する以外にも、座布団類を用意する、大判のひざ掛けなどで下半身をすっぽり覆う、足を締め付けないような暖かいスリッパを用意し、足の下に畳んだダンボール箱などの断熱材を敷くといった方法で保温を図るとよい。

手の冷えもつらいが、もこもこの手袋をしたままというわけにもいかない。そういう時にそなえて指先の動きを妨げない薄手の手袋は用意しておこう。薄くてもあるとないとでは大違いなのだ。

更に、搬入・搬出・片付けなどの時のために軍手や皮手袋は必須！

机も椅子もダンボールも、素手で持つのは泣けてくるくらい冷え切っている。

ちなみに軍手は掌がゴム引きになっているものを選ぼう。

机の上に敷くテーブルクロスも、難燃性、不燃性の布ならば裾を長めにし、厚手のものにするだけで寒風に対しての有効な防寒設備になる。

特に『お誕生日席』と呼ばれる島端のスペースは前方だけでなく側面からも寒風が吹き込んでくる場合が多いので、側面まで回りこむ大き目のクロスを用意しておくとういだろう。

机にかけた布の裾と床とのスキマを机の下に積んだ箱や荷物でしっかり塞げば、足元からのスキマ風の吹き込みを防ぐことができる。

更に机の下に荷物を整理して収納することでサークルスペースの整理整頓、置き引きなどの犯罪行為防止のメリットもある。

朝は少しだけ早めに入場し、念入りに足元の防寒を行いたい。

なお、背後から風が当たる場合は、首筋、背中、膝裏、足首といった身体が冷えやすいポイントが多いので、特に念入りに防寒対策をする必要がある。



●カイロは上手に使ってあったかく♪●

防寒グッズの基本中の基本ともいえるべきカイロ。カイロは最低2つは用意しよう。

カイロは腰に貼るのが基本、まずは1つを腰に、もう1つは手指を暖めるために手元に置く。

ただし、せっかくカイロを貼ってもしゃがんだときに背中が出てしまうような短い服では効果も半減。腰全体をしっかりと覆う、裾が長めの下着を着ること。

靴中用のカイロは靴の通気性が悪い場合などは十分に発熱しないこともありうるため、会場に到着する道中に上着のポケットなどであらかじめよく発熱させて、落ち着いたら靴に入れよう。

どうしても寒い場合はカイロをマフラーやバンダナ、タオルなどで包み、首の後ろ側に巻くとよい。首以外にも膝の裏や脇の下など、太い血管が通っている部分を重点的に暖めると効果が大きいのだ。

カイロは少し余分を持っていき、周囲で寒そうにしている人がいたら分けてあげよう。ただし、カイロの袋やカイロそのものを落としたり散らかさないよう、くれぐれも気を配ること！